

オオクシヒゲシマメイ

6月にナラ類やクリの葉を巻いて食べるイモムシ（幼虫）。体長最大30mm。体は黒く、黄色の縦縞がある。まれながら多発することがある。



1. 終齢幼虫，体長25mm。1993/6/25.



2. 幼虫の巣。1993/6/25。1の巣。

様似町，ミズナラ。



3. 雌成虫，体長11mm。1を飼育。

【学名】 *Datanoides fasciatus*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) ， メイガ科 (Pyralidae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州；樺太，シベリア南東部，朝鮮半島。

【生態】

寄主：ミズナラ，クリ

成虫は暖地では6月と8～9月の2回出現するという。北海道の低地では6月下旬に老齢幼虫が採れ，飼育したところ7月上旬に繭になり7月下旬に成虫になった。秋の幼虫は観察していない。

老齢幼虫は葉表を内側にして縦方向の筒状に巻いて巣を作り，その中に単独ないしは数頭でいた。

【被害と防除】

北海道では1979年と1980年に天然のミズナラ林で多発した記録がある。被害による枯死木の発生は記録されていない。森林では

防除の必要はないと考えられる。

【文献】

1980. 北海道森林昆虫談話会. 昭和54年度北海道に発生した森林害虫. 北方林業, 32: 159-163. (被害記録)
1981. 北海道森林昆虫談話会. 昭和55年度北海道に発生した森林害虫. 北方林業, 33: 155-159. (被害記録)
1982. 井上寛ほか. 日本産蛾類大図鑑. Vol. 1: 1-968; Vol. 2: 1-556, pls 1-392. 講談社, 東京. (分類, 形態, 寄主)
1993. 寺本憲之. 日本産鱗翅目害虫食樹目録 (ブナ科). 滋賀県農業試験場研究報告別号, 1: 1-185. (寄主)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

オオクシヒゲシマメイガ meiga/ookusi/
kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 1994/2/25.

1yochu.jpg, 1yochusu.jpg, 1seichu.jpg

「写真1～3」原秀穂, 北海道立林業試験場, 1993.